

我が家の玄関は

立春を過ぎた2月の何十年ぶりと言う関東の大雪は、翌日が日曜日だったので、若者から年寄りまで近所の人たちが繰り出しての雪かきになりました。汗をかきながらの作業で、連日降り続く雪国の人たちの苦労も感じましたが、日頃はあまり会話をすることも無い人たちとの会話が弾んだり、小中学生の頃の記憶しかなかったり、地震などでの災害時の協力的体制についても話ができた有意義な時間となりました。

先達で参加したふるさと訪問時の懇親会では、町長・議長・町議会議員・沢山の関係者が出席され和やかな懇親会となりました。

小野町を活性化させるた

め(人口増加)の話題となり、さまざまな提案がありました。

どの項目も簡単には進まないと思いますが、一つ一つ熟慮し時間をかけ進める事が大事かと思えます。

私は、30年前に注文住宅で自宅を建築するときに、田舎の材料を使うことを考えました。最初に材木に杉の木や檜の木を使いたいと各方面に当たりましたが諸事情から実現しませんでした。

ただひとつ、浮金地区で産出される御影石の破片を車で運び玄関の敷石や鉄平壁に使用しました。(材料費無料)当時の職人さんは引き受けてくれて大変な作業を完成させてくれました。正に職人泣かせの注文

柏原 信夫
(小戸神出身/千葉県支部)

だったと思いますが、我が家のシンボリックな存在になっています。

私が育った小野町は、春はレンゲ草畑、菜の花畑、タラの芽、夏は、ホタル、蛙が鳴き自然がいっぱいだったし、四季折々の農産物がありました。

これからも小野町の活性化に微力ながら尽力をしたいと思っています。



きらめく小野町フォトコンテスト作品展のご案内

とっておきの小野町をテーマに「ジュニア部門(高校生以下)」と「一般部門」で募集した「きらめく小野町フォトコンテスト」の作品展を開催します。

小野町の魅力あふれる作品を多数展示しますので、ぜひご覧ください。

- 会期 3月23日⑨から3月30日⑨まで
- 場所 ふるさと文化の館美術館
- 入場料 無料

問企画商工課 ☎ 72-6938

